

ふるさと講座自然系第2回目のお知らせ！

「小さな冬の使者ユキホオジロを訪ねる観察会」のお知らせ！

- 日 時 令和4年11月26日（土）
午前9時30分～12時30分
- 場 所 野付半島（集合・解散は野付半島ネイチャーセンター2階）
- 講 師 NPO法人野付・エコ・ネットワーク
- 申込等 11月22日（火）までに、電話・FAX・メールにてお名前と電話番号をお知らせください。
定員 10名
- その他 観察場所は、野付半島最後の番屋から徒歩で先端まで行ったところです。
防寒着を着用ください。



「奥行臼散策デー」を開催しました。

10月9日（日）奥行地区にある交通歴史遺産を巡るイベントを開催しました。

乗馬体験、旧標津線の線路を使ったトロッコ体験、別海町歴史文化遺産「別海音頭」、「野付音頭」の披露、手作りヨーグルトの販売、軽食の無料提供、奥行地区文化財見どころツアーなど盛りだくさんの内容に多くの方にご来場いただきました。



ふるさと講座・歴史系第3回目の様子

擦文・アイヌ文化～窪みが残る古代集落遺跡群を巡る～

10月30日（日）参加者4名で開催されました。郷土資料館にて旧石器時代からアイヌ文化期までのお話と町内に残る遺跡の説明をしました。

その後、車で移動し、風連湖岸の本別海1遺跡、本別海チャシ跡、旧別海中学校横の別海2遺跡を見学しました。

身近にある古代遺跡を巡り、当時の様子を想像することが出来たかと思います。

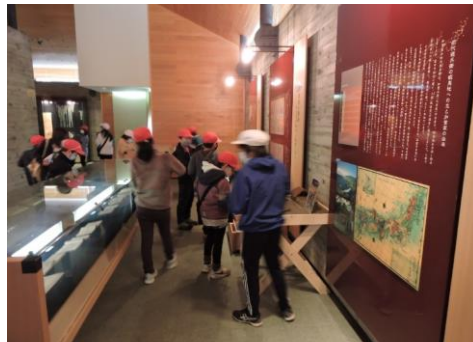


別海町の歴史や自然、先人について学ぶ

10/27 中春別小学校 4 年生

総合的な学習の時間「別海町について調べ本を作ろう」という授業のために郷土資料館・加賀家文書館に来館されました。

町の歴史や自然のお話を聞いた後、展示室を見学し資料を写真に撮りながら、学芸員に詳しい説明を聞きました。普段見る事の出来ない貴重な資料を前にワクワク感が止まらない児童達でした。



別海2遺跡出土のアイヌ文化期の資料について

昭和 46 年（1971）に発掘調査された別海 2 遺跡で、出土したアイヌ文化期の資料（腰小刀-1 点、太刀-1 点、小刀-1 点）が、この度、保存処理が終わり、常設展示されることになりました。

この遺跡は、旧別海中学校横に所在し、発掘調査では、縄文時代中期（約 5 千年前）、続縄文時代（約 千 6 百年前）擦文文化期（千 3 百年前）の土器や石器、竪穴住居跡が発見されました。アイヌ文化期の遺物も発見され、西別川岸を立地に長い間古代の人々に利用されてきたことがわかりました。

11 月 1 日（火）より一般公開していますので、ぜひ、ご来館ください。なお、当面は保存処理剤同封の状態での展示となります。



別海町郷土資料館だより No.280

発行日 令和 4 年 11 月 1 日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802（FAX 兼）

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

誌面のとおり、10/27 の中春別小学校 4 年生の来館がありました。多くの資料を前にたくさんの質問をしてくれました。普段見る事が出来ないということもありますが、実物を良く見るというのは、非常に重要なことで、大きさ、質感、資料の重要性を感じてもらえたのではないのでしょうか。